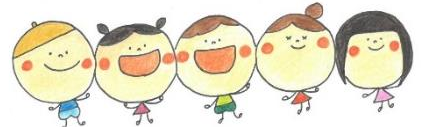




むぎのほ



かいかなだより

子ども家庭支援センター麦の穂

中津川市千旦林 1468-7 地域交流ホーム 麦の穂会館内
TEL 0573 (68) 6858 FAX 0573 (64) 8139

2022年1月 第261号



令和四年 寅
あけまして
よいな
一年は
いっは
の
幸せ



麦の穂子育てサロンのご案内

*感染防止に努めながら開催しています。今年度は、1月17日・2月7日・3月7日です。

☆時間☆ 9:30~11:30

☆対象☆ 未就園児(坂本地区)

☆内容☆ 子育て相談、体重・身長の測定、親子あそび等

☆持ち物☆ バスタオル (フェイスタオルでもo.kです)

☆場所☆ **麦の穂会館** (会場は全て「麦の穂会館」となります)



新しい年がスタートしました。
今年も引き続き職員一同子育てを応援していきたく思います。

**蛙は緑色じゃない 教育で最も難しいとされる<自律>を身につけさせたい**

●●と勝手に決めつけて相手に押し付けることで自己満足している先生やお母さん・お父さんがいます。特に、絵を描かせている時に色の使い方を自分が教えられたように伝えれば、上手に見られるので色を決めつけて指導している場合があります。

しかし、子どもは大人と異なった見方・捉え方・感じ方をしていることがあります。想像力があり創造豊かな生き方をしています。それが押し付けられたり、具体的なほめ方をされていないためにイメージが貧困で偏ってしまう行動に結びついてしまう触れ合いです。

例えば、蛙描いて、蛙は緑で塗ってという言葉かけです。しかし、子どもがカエルは緑だけでなく、黒色・黄色・青色・虹色など様々塗り始めます。この時に大人が<蛙は緑でしょう>みどりに塗らないと蛙じゃないの、と親が決めてつけて色を塗らせると、子どもは緑色に塗った蛙を見せると<わあ、上手に緑色に塗れたね>と言って子どもを褒めるお母さんとなります。子どもは文句や叱られるよりも親の言うとおりにするとほめられることで心地よい感覚になり、親の言うとおりにすると安心する親の顔色を見て育つことに結びつきます。

自分で●●するという<勉強とウンチは人に言われてするものではない>主体性が身につけていません。このように押し付けられて育つことで、子どもは自律するのではなく人に言われて素直に大きくなる他律的「自分の意志によるのではなく他からの命令・強制によって行動すること」生き方に結びつく場合があります。自分の意見を言うのも差し控えた生き方になります。一見素直でおとなしい性格に見られ周りからいい人というレッテルを張られて生活している場合がみられます。意志の弱い生き方にさせないことです。「髪の毛は黒でない・肌は肌色でない・●●くんは乱暴だけではない・大きな声出して歌うだけでない・カレーは辛いだけでない。」子どもたちは自分の眼で捉え、耳でしっかりと聴き、鼻でにおいを嗅ぎ、口で自分なりに味わって観察・認知し活動しています。このように生きている時に物を捉えて様々なイメージを持って生活しています。イメージを豊かにもって行動する中で将来、勉強や仕事に生かそうとする資質と能力を持っている子どもたちをつぶさない育て方をしたいものです。自分の能力で持って、様々な場面に立ち向かったときに人の言葉で生きるのではなく自分で捉え、自己選択そして自己決定する生き方、教育で最もむずかしいとされる自律「自分で決めた規則に従いわがまを抑えること」小さい時から少しずつ身につけさせたいものです。

